

イミディアット・カンバセーションズ1

「イミディアット・カンバセーションズ」とは

英語の質問に答える時、不慣れな場合（特に初級）では、頭の中でまず日本語で答えを見つけ、それを英文に直すということをやっているため、答えるまでにずいぶん時間がかかってしまいます。しかし、「イミディアット・カンバセーションズ」ではこの時間をとらず、（= Immediate / イミディアット）しかも生きた会話ができるようになること、これを目指して私たちはこの教科書を「イミディアット・カンバセーションズ」と名づけました。

この教科書を使った授業では、まず、**あなた自身のこと**について話します。そして、**先生やクラスメート**と**いっしょに、身近な話題**について話します。このような経験を積み重ねて、英語で会話をするのに必要なことを学んでいきます。

・質問する



「どこに住んでいますか？」
「神戸です。」

・質問に答える



「納豆が好きですか？」
「はい、大好きです。」

・相手の言ったことに対して、反応する



「私はピアノとトランペットが演奏できます。」
「すごいですね！」

・質問されなくても、自分自身について話す



「僕の得意な教科は算数です。」

この教科書には、あなたが実際の会話を行う上で必要になることがふんだんに盛り込まれています。

まず、あなたは「リアルタイム」で話すこと、つまり日本語に置き換えて考える時間を持たずに話すことを学びます。それから、自然な会話の流れの中で、新しい知識をどのように使っていくかを、少しずつ学んでいきます。こうして、会話を広げていくやり方を段階的に身につけていきます。といっても、難しく考える必要はありません。自分の毎日の生活のことを話したり、クラスメートに質問したりすることを通して、生きた会話を身につけていくのです。

沈黙と文化

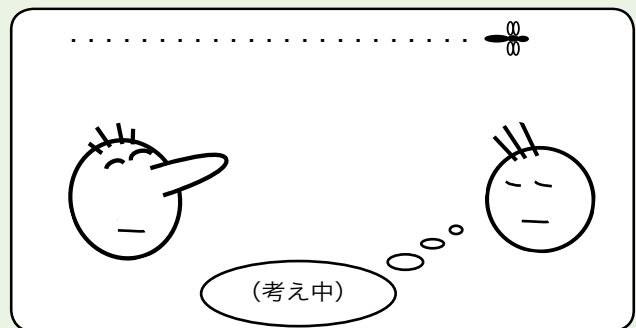
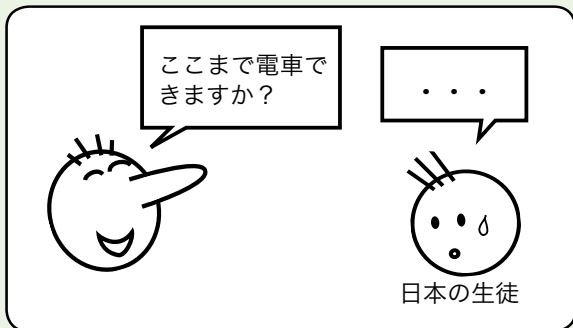
■文化について

私たちは、幼い頃から「適切な話し方」に関するルールを教えられてきています。これは、社会の中での礼儀正しさのルールとして教えられるものです。このルールは、私たちの中に深く染み付いていて（つまりあまりに当たり前すぎて）、意識されることもあまりありません。そのため私たちは、会話のルールはどこでも同じで、自分の身につけた礼儀正しさに関するルールも世界中で通用すると考えがちです。

しかし、これは真実ではありません。礼儀正しさのルールやその表現方法といったものは、文化や国によって大きく異なるものなのです。

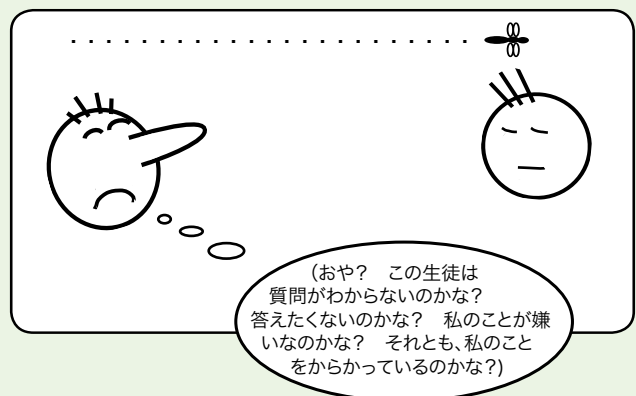
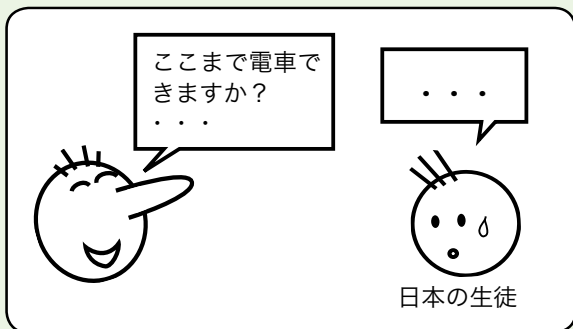
■日本では・・・

教室の中で先生が質問する時、当てられた生徒は答えを探そうと求められています。そのとき、よく生徒は長い時間考え込んだり、教科書を見たり、隣の生徒に答えを聞いたりしています。そのようにして答えを探している間、基本的に生徒は先生に対してずっと黙ったままです。または、そのまま長い間何も言わずに黙っていると、そのこと自体がひとつの答えとなります。つまり、「わかりません」という答えです。



■他の国では・・・

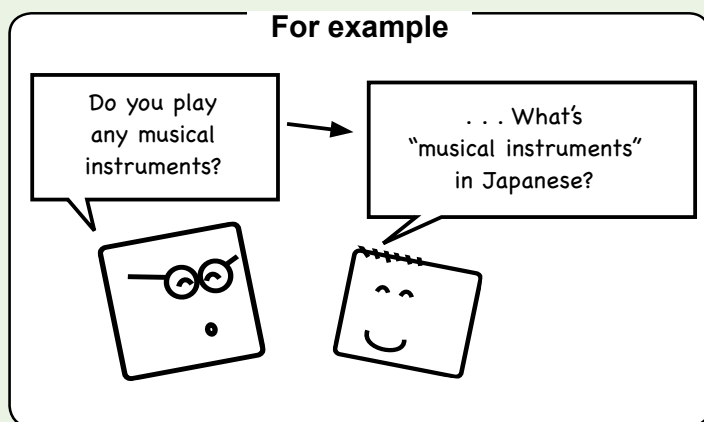
欧米を含む多くの他の国では、先生（またはクラスメート）が質問した場合、すぐに返答することが重要だとされています。質問されて黙っているのは、失礼な態度と見なされます。沈黙は、「あなたの質問には答えたくない」という意思の表れと解釈されるからです。一般社会でもそうなのですが、特に教室の中ではこのルールが重視されています。先生が質問したら、ほかの生徒を含めた全員があなたの答えを待っています。ここに文化の違いがあります。



■このクラスでは・・・

できるだけ早く答えを言うように努力しましょう。できれば、5秒以内に。最初は難しいと感じるかもしれませんが、慣れれば大丈夫！ それに他の国ではみんなそうしているのだから、このスピードについていけるようがんばりましょう。でも、もしも答えがわからなかったら？あるいは、質問が早すぎて理解できなかったら？ そんなときのための、簡単で効果的な方法はいくつもあります。私たちは、もちろんそのようなことも練習します。

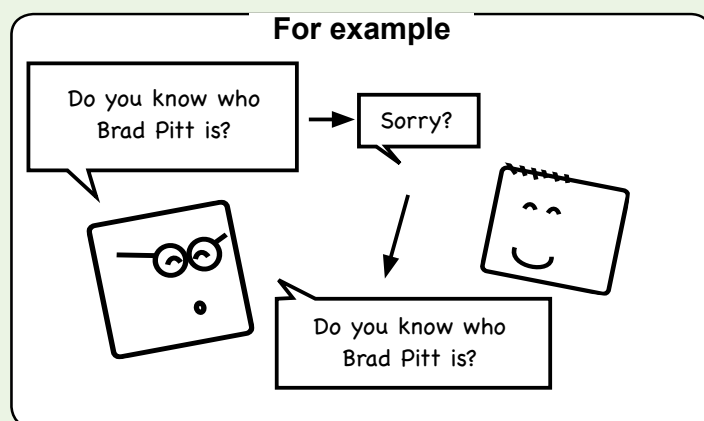
■ **先生が言ったことでわからないことがあったら**、そのわからなかった言葉の意味を先生に質問しましょう。先生は、ほかの言い方やジェスチャーで、あるいはイラストで説明してくれます。場合によっては、日本語で教えてくれることもあるでしょう。また、「辞書で調べなさい」とか、「クラスメートにきいてみなさい」と指示を出してくれます。会話の流れを中断させないこと。言葉がずっと続いていること。それが大切です。



「何か楽器ができますか？」

「「musical instruments (ミュージカル・インストゥルメンツ)」って、日本語で言うと何ですか？」

■ **先生が言ったことで聞き取れない言葉があったら**、先生に質問を繰り返してくれるように頼みましょう。これは、たった1つの言葉、「Sorry? (えっ?)」でできてしまいます。

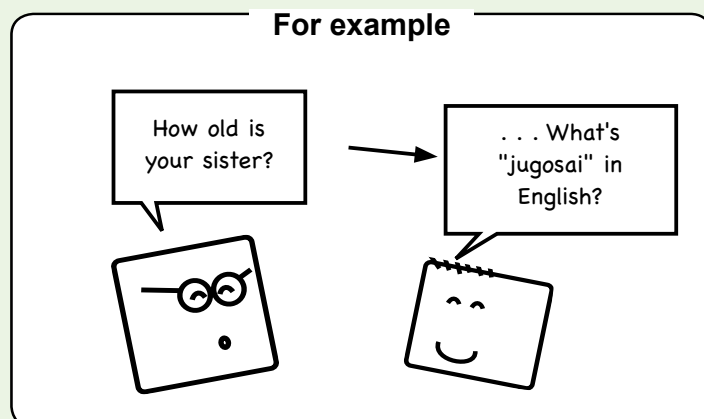


「ブラッド・ピットって、知っていますか？」

「えっ？」

「ブラッド・ピットって、知っていますか？」

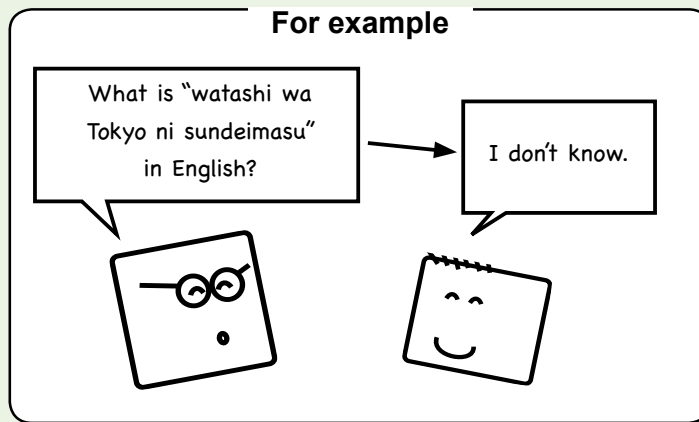
■ **質問の内容はわかったけど、答えを英語でどう言うか知らないので答えられない。** そんなときには、それを英語でどう言えばいいのか、先生に聞きましょう。



「お姉さんは何才ですか？」

「「15才」って、英語でどう言うんですか？」

■ 質問の内容はわかったけど、答えが思いつかない。そんな場合には、「I don't know (わかりません)」と言いましょ。あなたの言い方と態度に相手を尊重するものがあれば、英語ではこれも立派な答えとなります。黙ったままでいるよりも、これははるかに礼儀正しい態度なのです。



「私は東京に住んでいます」は英語でどう言いますか？」

「わかりません。」

質問の答えがわかっているときは、もちろんすぐにそれを言いましょ。自分の答えが正しいかどうか自信がない場合でも、とにかく口に出して言ってみましょ。もし間違いがあったとしても先生が直してくれます。これを繰り返すことが、うまく話せるようになるための近道です。

会話トレーニング

学習した内容を実際の会話の中で使っていき、即座に言えるようになるためには、たくさんの経験（会話トレーニング）を重ねる必要があります。知っている単語の数を増やしたり、新しい表現の構造を理解したりする上で、英語を書く練習が重要であることは言うまでもありません。しかし、リアルタイムで話せるようになるためには、やはり会話を繰り返し実践することが必要です。また、英文の読解によって単語や文章を理解できるようになれたとしても、残念ながらそれだけでは話せるようにはなれないのです。

この教科書を使った授業で、これからあなたはクラスメートといっしょにたくさんの会話トレーニングを行います。クラスメートに質問し、それに答えてもらう。逆に、クラスメートからの質問に、あなたが答えます。これをできるだけ何回も、そして学習した単語や表現をできるだけ駆使して、練習してください。たとえば「Does your father have a hobby? (お父さんは何か趣味を持っていますか?)」、「Does your mother have a hobby? (お母さんは何か趣味を持っていますか?)」、「Does your brother have a hobby? (お兄さんは何か趣味を持っていますか?)」、「Does your father speak any foreign languages? (お父さんは外国語を話せますか?)」、「Does your mother drive? (お母さんは車を運転しますか?)」などのように。やがて、このようなやり取りがスムーズにできるようになったら、次はお互いにクイズ形式で会話してみましょ。「What's 『お子さんは何才ですか』 in English? (『お子さんは何才ですか』は英語でどう言いますか?)」、「What's 『お兄さんは何才ですか』 in English? (『お兄さんは何才ですか』は英語でどう言いますか?)」などのように。一人が質問し、相手が答えます。そして、次にその役割を交代します。

会話を楽しみましょ!

この教科書は「イミーディアット・メソッド」と呼ばれる外国語教授法に基いて作られています。この教授法は日本で開発され、英語だけでなく、フランス語やドイツ語、日本語での会話能力を身につけるために、現在たくさんの学習者が実践しています。これらの学習者にとって、イミーディアット・メソッドは決して難しいものではなく、逆に誰もが「とても楽しい!」と評価しています。

これからあなたも、英語でのやり取りを通じて、クラスメートや先生について多くのことを発見していくことでしょう。そして、先生やクラスみんなに、あなた自身のことを英語で言ってみてください。すぐにあなたは、外国語で話すことはそれほど難しいことではないと理解できるようになるはず。英語での会話を、大いに楽しんでください!

Immediate Conversations 1

Immediate Conversations

This book is called “Immediate Conversations” because it teaches you to speak English immediately, in real-time conversations! This book is not like other books. You will talk about **yourselves**, and find out interesting information about the **daily lives** of your classmates.

You will practice the following elements of conversation:

- Asking questions:



- Answering questions:



- Reacting to what your partner said:



- Speaking about yourself without being asked a question:



This book gives you all you need to conduct real conversations!

- First, you learn to speak in “real time,” without pausing to think.
- Then, little by little, you learn how to use your new knowledge in natural conversations, just like a native speaker. It’s easy when you are talking about real life, and asking meaningful questions to your classmates.

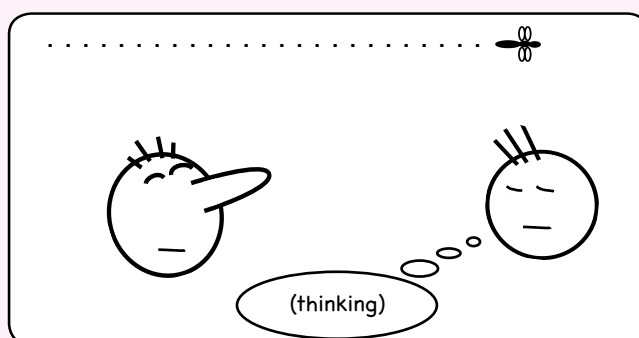
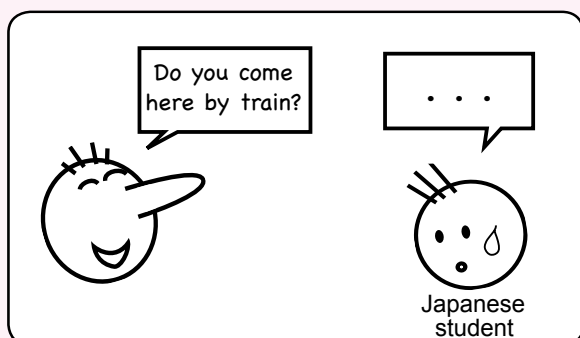
Silence and Culture

■ Polite expression and culture

In our own society we learn the appropriate way to use the rules of politeness in speech from an early age. These rules have become deeply internalized. They are automatic, and are used subconsciously. We generally have the impression that these rules are the same everywhere, that they are universal and do not change from place to place. But this is not true: rules of politeness are cultural. This means that people express politeness differently depending on the country and culture they belong to.

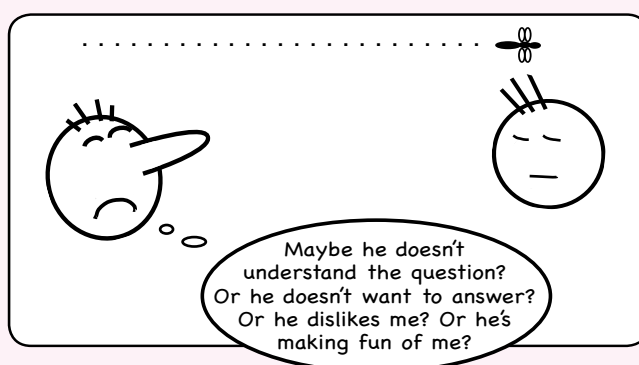
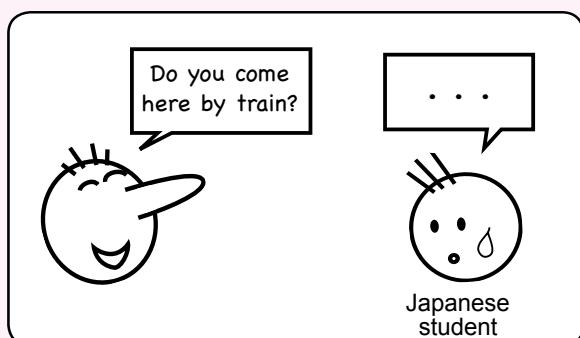
■ In Japan

In Japan when someone is asked a question in class, that person is expected to come up with an answer, but it is not unusual for that person to think for a long time, gaze into their textbook or even consult a classmate next to them. The entire time they are searching for the answer, they remain silent. This silence may have a meaning in itself: It could mean "I am not able to answer the question."



■ Outside Japan

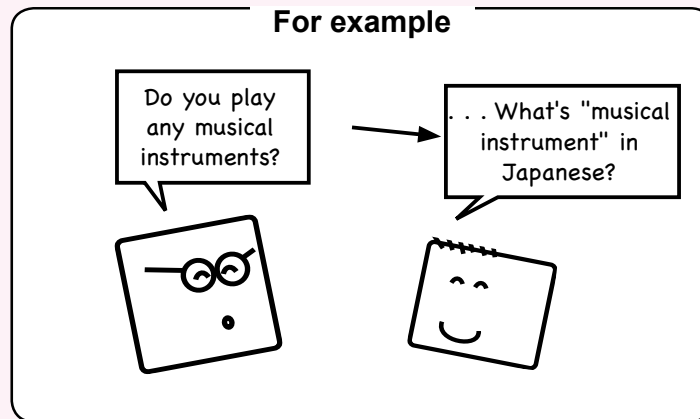
In the West, when your teacher (or someone else) asks you a question, it is important that you answer almost immediately. Remaining silent when you have been asked a question is considered impolite. It is interpreted as "I don't want to answer you". This is true for normal conversation, and it is even more important in class, when your teacher asks a question and everyone is waiting for the response. It is a cultural difference.



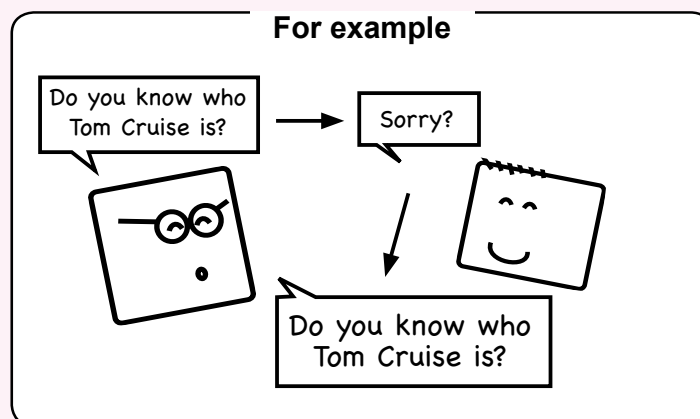
■ In this class

We will make an effort to answer questions very quickly, within five seconds. It might be difficult for you at first, but this is the way people do it in the West. How can you do this if you don't know the answer, or haven't understood the question? There are a number of simple ways, and we will practice them.

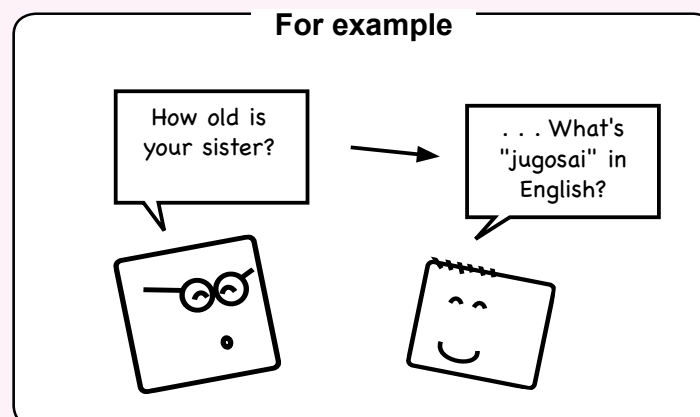
- **If you don't understand something the teacher says**, just ask the meaning of the words you didn't understand. Your teacher can explain with a sentence, with gestures, with a drawing, or give you the Japanese equivalent. The teacher might also ask you to look a word up in the dictionary, or have you ask someone else in the class. Each time, the verbal exchange is successful, and the conversation can continue.



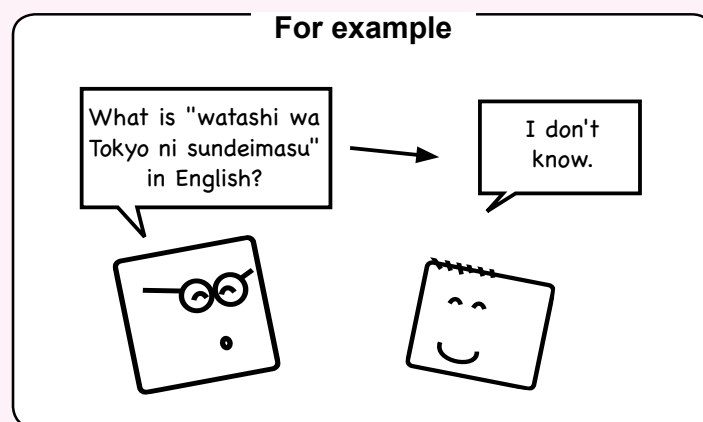
- **If you don't hear something the teacher says**, just ask the teacher to repeat the question! You can do it with one word: "Sorry?"



- **If you do understand the question, but you can't answer because you don't know how to say something in English**, just ask how to say the word (or sentence) in English!



- **If you understand the question but you don't know the answer**, just say "I don't know". If your voice and demeanor is respectful, this is a perfectly polite way to answer in English. It is infinitely more polite than remaining silent.



Of course, if you are asked a question and know the answer, say it right away! Even if you are not sure the answer is correct, say it anyway. The teacher will correct mistakes if there are any. This is the time when you will learn the most!

Conversation Practice

To use what you learn in real conversations, it is necessary to do a lot of conversation practice so you can say things immediately. Written exercises are important for remembering vocabulary and new sentence structures, but it is conversation practice that will allow you to speak in real time. If you only know a word or a sentence from reading, you will not be able to say it without hesitation. You have to do a lot of oral practice with your partner in class. The basic procedure for doing this is that you ask a given question to your partner, and your partner answers. Then you reverse roles: your partner will ask you a question, and you answer. Do this as much as you can, using all the possible variations you have learned. For example: "Does your father have a hobby?", "Does your mother have a hobby?", "Does your brother have a hobby?", "Does your father speak any foreign languages?", "Does your mother drive?", etc. When you have exhausted this type of conversation practice, you can quiz each other: "What's 'anata no kodomotachi wa ikutsu desuka' in English?", "What's 'anata no onii-san wa ikutsu desuka' in English?", etc. One partner asks the questions, the other answers. Then you exchange roles.

Have Fun!

The *Immediate Method* is the teaching method on which this book is based. It was developed in Japan, and many beginning students have used it to learn to speak French, German and English. They all say that it is not very difficult and that it is a lot of fun! You will also have the enjoyment of learning all kinds of things about your classmates and your teacher, and the pleasure of telling them about yourself! Most of all, you will realize that it is not so difficult to have conversations in a foreign language. Have fun!